

青森・岩手県境不法投棄現場環境再生・提案書

団体名等	アトリエ無久（自営）		
代表者	下田 武夫	担当者	
所在地等	青森県八戸市		

①提案のテーマ：記憶の保存と記録の保存			
キーワード	記憶の保存	記録の保存	
テーマ選定の目的・理由			
かつて不法投棄の全量撤去という結論を出したのは県民の賢い判断であり、地球に優しい結論でした。その心を失いたくないものです。			
②提案の概要			
・ 跡地利用の形態やソフト面の工夫など、全体の仕組み			
・ 必要に応じてフローチャートやイメージ図を用いてください（別紙可）			
1. 不法投棄現場は不法投棄以前の人々の記憶に残る風景にできるだけ戻す。 現地は要望があれば農地として民間に払い下げる。要望が無い場合は植林し山林とする。 簡素な展望台を整備する。浸出水処理施設は利用する。			
2. 不法投棄と環境再生に関する全ての成果と記録をアナログ、デジタルデータとして保存し、公開する。場所は田子町図書館とする。図書館の一部にコーナーを設ける。 ホール等も利用し、ごみ処理の重要性、循環型社会の必要性を自覚できる県内中心施設とする。			
③実施主体（提携、協力主体を含む）			
図書館を運営している田子町			

④概算事業費（可能であれば記入）

撤去；選別ヤード、洗車設備、遮水シート、遮水壁
浸出水処理施設は利用。

⑤期待される効果

図書館廻り施設の利用率が増す。

不法投棄に関して興味を持って訪れる人は、一ヶ所で全体を把握でき、現地にも行くことができる。

資料を保存するだけでなく、関連することについて発展させることができる。

まずは田子町の中心地に他地域から訪れてもらう。ついでに田子町を知ってもらう。

⑤その他、特記事項

一般の声の中に、スキー場をとというのがあったが、現在田子町にはかろうじて営業している立派なスキー場が創遊村のそばにあります。創遊村と同様当初は希望に満ちてオープンしたはずです。

不法投棄現場にどんなに資金を投じて新たな施設を整備したところで結果は見える気がします。

「不法投棄現場を利用して…」という提案の募集は、新たにスキー場を…、という提案にも似たものを感じます。金を使うのが目的なら別ですが一。